

平成30年2月28日

3 学年生徒・保護者様

神奈川県立厚木北高等学校  
校長 河原 克 宣

### 平成29年度第2回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび第2回「生徒による授業アンケート」を実施し、貴重なデータを得ることができました。その集計結果を受け、各教科で実践してきた授業改善の成果を分析・検討するとともに、授業改善をさらに行い授業の質を今まで以上に高める取組を進めています。

については、各教科における集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧ください、ご質問・ご意見等、お気づきの点がありましたら、ご連絡くださるようお願いいたします。

〔問合せ先 副校長 (046)241-8002〕

#### 1 アンケートの実施日 平成29年12月21日（木）

#### 2 各教科の集計分析・授業改善（概略）

|       |      |  |
|-------|------|--|
| 国語    | 集計分析 | 古典Bでは授業内容に対する興味関心が、7月のアンケートよりやや下がっているものの、75%以上の肯定的な回答がまだあり、意欲的な取り組みやわかろうとする努力も生徒側において意識されている。指導方法も、生徒側の満足度をおおむね満たしていると考えられる。現代文Bは80%以上の生徒が、授業内容と指導方法について、前回同様、肯定的回答であった。ただ、生徒自身の取り組みということでは、「予習・復習をしている」の項目が否定的回答であり、全体的にも前回と同じような集計結果となった。  |
|       | 授業改善 | 現代文Bでは、わかりやすい授業と丁寧な説明に気を配るのはもちろんだが、生徒が関心を持つよう、引き続き教材にも配慮していきたい。<br>古典Bにおいては、文法事項や作品背景等の知識も多方面にわたり必要となっており、予習・復習の必要性も高じている中、前回に引き続き生徒自身の取り組みが不足しており、積極的な学習を促す対策を講じる必要がある。   |
| 地歴・公民 | 集計分析 | 日本史Aでは、内容の理解度などの授業内容については、80%以上の生徒が肯定的回答をしている。しかし、予習・復習に関しては否定的回答が多く、7月のアンケートと似たような内容の集計結果となった。<br>日本史Bでは、各項目で80～90%近くの生徒が肯定的回答を選択している。他方で、生徒自身の取り組み状況の「予習・復習をしている」の項目で否定的回答を選択した生徒の多さが目立った。<br>政治・経済では、前回の調査と比較して、授業内容と指導方法で否定的回答をする生徒が増えた。生徒自身の取り組みでは「予習・復習をしている」の項目で特に否定的回答が多く、学習習慣を身に付けられなかったことも理解度が下がったことの一因と考えられる。 |
|       | 授業改善 | 日本史Aでは、生徒が授業外で学習に取り組む時間を確保できるように課題を与えるなど、日々の生活に予習・復習の時間を設けられるように工夫していく。<br>日本史Bでは、生徒自身の取り組み状況を改善すべく、学びに対する意欲が向上するような学習課題を設定していく。<br>政治・経済では引き続き、知識ばかりでなく、生徒が主体的に考えられるよう授業を工夫する。また、日常的に予習・復習をできるよう工夫する。   |
| 数学    | 集計分析 | 数学・数学研究と代数・解析Bのどちらも理系の科目であり、学習内容が多く専門性も高いため、授業内容に対する肯定的回答がおよそ70～80%と多く、その他の項目でも同様の回答が得られている。しかし、学習内容が多く専門性が高いという点から、生徒主体に授業を展開したり、生徒自らがわかろうとする意識が低くなりがちなので、その点を工夫することが課題である。   |
|       | 授業改善 | 全体的に、生徒の満足度は高いが、理解度に差が見受けられる。家庭でも振り返って学習できるようプリントを用い、ときには放課後の時間を活用して、個別対応で理解度の差が出ないよう工夫していく必要がある。また、生徒が主体的に取り組めるような、授業展開の工夫も必要である。   |

平成29年度第2回「生徒による授業アンケート」の集計結果等について（報告）

|      |      |  |
|------|------|--|
| 理科   | 集計分析 | 理系の科目では、7月のアンケートに比べて授業内容・指導方法に関する評価は肯定的回答が多くなった。生徒自身の取組状況にも、意欲的な様子が表れている。受験勉強が一段落し、目的意識をもって各自の進路に必要な勉強をしているためと思われる。<br>1組の物理基礎では、指導方法については全般的に肯定的回答となった。また、授業内容についても特に「生徒の理解度に合わせた授業」という点で満足度が高かったようである。   |
|      | 授業改善 | 理系の科目では、進学・就職に向けた課題を明確に与えたり、自主的な家庭学習を促したりする等の指導を継続して行うことで、基本的かつ発展的な内容の理解度を高め、家庭学習の定着を図っていききたい。<br>1組の物理基礎では、授業内容への理解度を上げるための興味関心を持たせるような工夫がやはり必要であり、より具体的な現象などを日常生活の中から取り上げつつ、今後も生徒一人ひとりに向き合った授業を実践していききたい。                                      |
| 保健体育 | 集計分析 | 体育においては、多くの項目において80%以上の生徒が肯定的回答であり、とても高い満足度を得ていることがわかる。全体的に取り組み状況が良好であるため、引き続き、生徒の発達段階に合わせたきめ細かい指導を行いたい。   |
|      | 授業改善 | 自分が学びたい球技種目を選択する授業であるため、多数の生徒が積極的、かつ前向きに取り組んでいる。しかし、現状に甘んじることなく、生徒のニーズに応えつつ、よりわかりやすい授業にしていききたい。また、アンケート結果の中で「予習・復習をしている」や「わかるようにする努力をしている」の数値が他に比べ低いことが分かった。健康の保持増進や生涯スポーツという観点から、授業以外でも運動に取り組むような働きかけを積極的に行っていききたい。                             |
| 英語   | 集計分析 | コミュニケーション英語、発展英作文ともに、おおむね80%の生徒が肯定的回答をしていた。コミュニケーション英語では、特に「授業のマナーを守っている」、「公平に接している」という項目で肯定的回答を得た。生徒に対して公平に接することで生徒が授業に参加しやすくなり、多くの生徒が集中して授業を受けられていることがルールを守ることにつながっているのではないかと思われる。また、習熟度別授業を実施していることにより、生徒のレベルにあった授業ができていることも関連があるのではないかと思われる。 |
|      | 授業改善 | コミュニケーション英語、発展英作文ともに、「予習・復習をしている」という項目の否定的回答が多かった。生徒が予習・復習を行いやすくなるように、授業のポイントを明確にしたり、プリントを工夫したりする等の改善をしていき、生徒に家庭での学習習慣が身につくよう働きかけていきたい。また、次の授業で扱う内容をあらかじめ周知することで生徒に興味を持たせ、定期的に小テストを実施することで生徒が予習に取り組むよう工夫していききたい。                                 |
| 家庭   | 集計分析 | 7月のアンケートに比べて、授業内容・指導方法に関する肯定的回答が多くなった。授業内容をわかりやすくするためにワークプリントの学習事項をまとめたので、生徒は理解しやすいという回答をしたものと思われる。考えて答える課題には少しずつ慣れてきたようで、自ら考えた自分の言葉で表現できるようになりつつあるが、予習・復習が不十分であり、学習習慣が十分とはいえない。   |
|      | 授業改善 | グループ学習の準備段階として、自分の意見をまとめられるような課題を与え、自分の意見を書かせるワークに取り組みせ、自分の意見を述べるようになってきた。主体的生活者となるように、生徒が時代に即して主体的に考えられる教材をさらに準備し、今後も自ら課題を見つけ解決する能力を伸ばす工夫をして、引き続き取り組ませたい。   |